

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	環境保全推進事業（合併処理浄化槽）			所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●			●	●	
事業対象	町民	目的	合併処理浄化槽の設置補助を行い、公共用水域の水質保全や生活環境の向上を図る。			
事業概要	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、合併処理浄化槽の設置整備に関する補助を行うことにより、生活環境の保全を図る。					

事業予算						
会計	001	款項目	04	02	02	0001 環境保全推進事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算見込				
直接事業費		425	1,593	1,753	4,482	
概算人件費		622	751	622	622	
トータルコスト		1,047	2,344	2,375	5,104	
国庫/県支出金		138	695	580	2,298	
その他		0	0	0	0	
R3概算人件費	正規職員	0.13人		622千円		/
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			622千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
① 測定地点数に対する測定値が環境基準値内の地点数割合（%）	86	92	96	100	100
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 自然環境と生物多様性の保全	3.95	3.19
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	□	□	■	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等  
 ・平成30年度に制度化し、現在まで転換実績が少ない。  
 ・公共用水域の水質保全を維持するために、転換を促進する効果的な啓発が必要。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	美化推進事業（530（ゴミゼロ）キャンペーン等）			所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	
事業対象	町民、事業者	目的	海岸清掃を実施することにより海岸をきれいにするとともに、海岸美化・海岸保全に対する意識向上を図る。			
事業概要	環境意識の高揚を図るため、ゴミゼロキャンペーンを実施する。また町の中心を流れる葛川の美化を図り、住みよい環境作りを推進する。					

事業予算						
会計	001	款項目	04	02	02	002 美化推進事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算見込				
	直接事業費	716	1,335	1,390	1,397	
	概算人件費	421	394	394	394	
	トータルコスト	1,137	1,729	1,784	1,791	
	国庫/県支出金	480	905	941	954	
	その他	0	0	0		
R3概算人件費	正規職員	0.08人		394千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			394千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
① 美化財団海岸ごみ回収量（t）	20	9	13	15	22
② 海岸530キャンペーン参加者数（茶屋海岸を含む）（人）	554	556	コロナに伴い中止	コロナに伴い中止	570

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 自然環境と生物多様性の保全	3.95	3.19
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	□	■	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	□	■	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等  
 ・コロナの影響有り（事業を中止）  
 ・環境意識の向上により海岸のごみ量が減少している。  
 ・海岸清掃のみに力を注ぐのではなく、河川を含む町内全体での事業展開を検討する必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	動物の保護管理事業			所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●	●	●	●	●	
事業対象	町民	目的	畜犬の適正管理、鳥獣被害の防止等により、人と自然が共生するまちづくりをめざす。			
事業概要	「狂犬病予防法」に基づく犬の登録及び狂犬病予防に関する事務を行うとともに、生活被害並びに農業被害の防止を図るため、有害鳥獣対策に関する事務を行う。					

事業予算						
会計	001	款項目	04	02	02	0003 動物の保護管理事業
		R1決算額（千円）	R 2 決算額		R 3 決算額	R 4 決算見込
	直接事業費	635	530		774	1,055
	概算人件費	2,798	738		1,925	1,925
	トータルコスト	3,433	1,268		2,699	2,980
	国庫/県支出金	0	0		0	
	その他	0	0		0	
R 3 概算人件費	正規職員	0.27 人		1,217 千円		/
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	0.39 人		708 千円		
	その他	人		千円		
	合計			1,925 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 見込
① 有害鳥獣による生活被害件数（件）	5	17	29	5	5
② 狂犬病予防注射の接種率（％）	96	96	92	88	100

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 自然環境と生物多様性の保全	3.95	3.19
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等

- ・畜犬の管理については適正に行なわれており、今後も現状を継続する。
- ・有害鳥獣被害については、捕獲の現状を分析し効率的かつ効果的な対応策の検討が必要。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性 「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	環境保全推進事業（地域環境推進員連絡会の開催）			所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
				●		
事業対象	町民	目的	地域住民と町が協働のもとに、地域環境の保全を図るため、町内各地区における推進役として設置している。			
事業概要	地域環境推進員連絡会を開催し、地域環境推進員が町民と町のパイプ役なるよう、町の施策などについて理解を深めてもらう。					

事業予算						
会計	001	款項目	04	02	02	0002 美化推進事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算見込				
	直接事業費	102	0	0	0	120
	概算人件費	-	-	229		229
	トータルコスト	102	0	229		349
	国庫/県支出金	0	0	0		
	その他	0	0	0		
R3概算人件費	正規職員	0.04人		229千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			229千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
① 地域環境推進員連絡会の開催回数	2	2	0	0	2
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 循環型社会の実現	4.09	3.14
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
必然性	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
緊急性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
実効性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
時代即応性	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
持続可能性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

成果・課題等  
 ・コロナの影響有り（会議開催の自粛）  
 ・地域環境推進員の役割を明確にする必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	美化推進事業（カラスネット配布）			所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
事業対象	町民	目的	カラスネットを配布し、ごみの散乱被害を防止することにより、住み心地の良い生活環境を確保する。			
事業概要	環境意識の高揚を図るため、ゴミゼロキャンペーンを実施する。また町の中心を流れる葛川の美化を図り、住みよい環境作りを推進する。					

事業予算						
会計	001	款項目	04	02	02	0002 美化推進事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額
						R 4 決算見込
	直接事業費	418		1,440		283
	概算人件費	513		394		641
	トータルコスト	931		1,834		924
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R 3 概算人件費	正規職員			0.08 人		394 千円
	再任用職員			人		千円
	会計年度任用職員			0.13 人		247 千円
	その他			人		千円
	合計					641 千円

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 見込
① カラスネット配布箇所に対するカラス被害防除割合（%）	-	80	80	80	100
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 循環型社会の実現	4.09	3.14
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
必然性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
緊急性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
実効性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
時代即応性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
持続可能性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

成果・課題等

- ・現在配布しているカラスネットでは、被害を低減できても無くすことはできない。
- ・令和2年度に導入したファスナー付ネットの効果を検証しつつ、課題をクリアできる方法を研究する。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性 「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	不法投棄防止事業			所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●					
事業対象	町民	目的	町内全域の山道及び街区における不法投棄物の撤去及び不法投棄の防止を図る。			
事業概要	町内全域の山道及び街区における不法投棄物の撤去及び不法投棄の防止を図る。					

事業予算						
会計	001	款項目	04	02	02	0005 不法投棄防止事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算見込				
	直接事業費	698	640	649	717	
	概算人件費	655	655	1,570	1,570	
	トータルコスト	1,353	1,295	2,219	2,287	
	国庫/県支出金	0	0	0		
	その他	0	0	0		
R3概算人件費	正規職員	0.21人		952千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	0.42人		618千円		
	その他	人		千円		
	合計			1,570千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
① 不法投棄パトロール実施回数（回）	52	54	52	51	52
② ごみのポイ捨てを防止するための啓発回数（回）	5	5	0	0	5

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 循環型社会の実現	4.09	3.14
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	□	■	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等  
 ・不法投棄物の回収回数は年度ごとの波はあるものの大きく増加傾向が見られないことから、パトロールが抑止力の一因となっていると考えられる。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	ごみ減量化・再利用事業			所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●	●	●	●		
事業対象	町民	目的	二宮町一般廃棄物処理基本計画に基づき、ごみの減量化・資源化を図る。			
事業概要	ごみの減量化・再利用化を推進し、啓発事業を行う。					

事業予算						
会計	001	款項目	04	02	02	0006 大事業 0006 ごみ減量化・再利用事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算見込				
	直接事業費	7,888	6,661	7,325	8,445	
	概算人件費	1,063	1,324	1,493	1,410	
	トータルコスト	8,951	7,985	8,818	9,855	
	国庫/県支出金	0	0	0		
	その他	0	0	0		
R3 概算人件費	正規職員	0.31 人		1,410 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	0.04 人		83 千円		
	その他	人		千円		
	合計			1,493 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
① 1人1日当たりのごみ排出量（g/人・日）	827	836	841	820	
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	循環型社会の実現	4.09	3.14
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
	全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析						
分析の視点	高い	←————→				低い
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	□	■	□	□	□	
緊急性	□	■	□	□	□	
実効性	□	■	□	□	□	
時代即応性	■	□	□	□	□	
持続可能性	■	□	□	□	□	
成果・課題等	新型コロナウイルスの影響で、町内滞在時間が増えたことなどにより、計画通りにごみの減量化が進捗していないことから、より効果的かつ効率的な啓発が求められている。					

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	拡大・拡充
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	拡大・拡充
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	一般廃棄物処理事務事業			所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●			
事業対象	町民	目的	一般廃棄物処理に必要な事務を行い、町内から排出される一般廃棄物を適正処理する。			
事業概要	一般廃棄物処理に関連した事務を行う。					

事業予算						
会計	001	款項目	04	02	02	大事業 0007 一般廃棄物処理事務事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額
		R 4 決算見込				
	直接事業費	1,181		1,770		945
	概算人件費	873		1,399		1,855
	トータルコスト	2,054		3,169		2,800
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R 3 概算人件費	正規職員			0.40 人		1,690 千円
	再任用職員			人		千円
	会計年度任用職員			0.08 人		165 千円
	その他			人		千円
	合計					1,855 千円

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 見込
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 循環型社会の実現	4.09	3.14
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等  
 ・ごみ分別については一定の理解が得られていると考えられ、継続するよう啓発を推進する。  
 ・安定した資源ごみの処理を図るため、複数の処理先確保の検討が必要。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性 「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			



基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	じん芥収集事業			所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
			●			
事業対象	町民	目的	家庭及び事業所から排出される一般廃棄物を適正かつ迅速に収集運搬することで、町民の安心と信頼を確保する。			
事業概要	各家庭及び事業所等から排出されるじん芥の収集を行う。					

事業予算						
会計	001	款項目	04	02	02	0008 じん芥収集事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算見込				
	直接事業費	167,647	167,647	170,992	181,264	
	概算人件費	1,034	1,035	1,184	1,184	
	トータルコスト	168,681	168,682	172,176	182,448	
	国庫/県支出金	0	0	0		
	その他	0	0	0		
R3概算人件費	正規職員	0.25 人		1,184 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			1,184 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
① 収集予定日数に対する収集実行日数割合（%）	100	100	100	100	100
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	循環型社会の実現	4.09	3.14
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
	全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

Figure 1: Scatter plot of Importance (X-axis, 3.30-4.50) vs Satisfaction (Y-axis, 2.40-3.60). Initiative 1 is plotted at approximately (4.10, 3.14), falling into the '重点維持分野' (Focus Maintenance Area) quadrant.

分析					
分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等

- ・町内事業者に委託し事業を実施しており、トラブルなく今日まで継続している。
- ・今後も安定したじん芥処理の維持を図る。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	ごみ処理広域化推進事業			所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●	●				
事業対象	町民	目的	平塚市・大磯町との広域処理を実施することで、安定かつ安全なごみ処理を推進する。			
事業概要	平塚市及び大磯町とのごみ処理広域化推進のため、広域利用施設等に係る負担をする。					

事業予算						
会計	001	款項目	04	02	02	大事業 0009 ごみ処理広域化推進事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算見込				
	直接事業費	100,794	141,008	107,565	123,409	
	概算人件費	367	923	311	311	
	トータルコスト	101,161	141,931	107,876	123,720	
	国庫/県支出金	0	0	0		
	その他	0	0	0		
R3概算人件費	正規職員	0.06 人		311 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			311 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	循環型社会の実現	4.09	3.14
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
	全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析						
分析の視点	高い ←————→ 低い					
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	■	□	□	□	□	
緊急性	□	□	■	□	□	
実効性	□	■	□	□	□	
時代即応性	□	■	□	□	□	
持続可能性	□	■	□	□	□	
成果・課題等	広域ごみ処理を推進することで、安定的なごみ処理を推進するとともに、スケールメリットを生かした事業運営ができています。					

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	ウッドチップセンター運営事業 ※			所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●			
事業対象	平塚市・大磯町・二宮町	目的	家庭や公園などから排出される剪定枝を焼却処理せず、チップ化することで、資源として発電燃料や堆肥原料にリサイクルする。			
事業概要	ごみ処理広域化に伴い、ウッドチップセンターの運営を行う。					

事業予算						
会計	0001	款項目	04	02	02	大事業 0010 ウッドチップセンター運営事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算見込				
	直接事業費	61,480		61,467		60,846
	概算人件費	1,350		1,286		1,140
	トータルコスト	62,830		61,467		61,986
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R3 概算人件費	正規職員	0.28 人		1,140 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			1,140 千円		

成果指標		基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
①	資源化の目標（%以上）	33.2	34.5	34.4	33.6	33.5
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	循環型社会の実現	4.09	3.14
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低いが高満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等

- ・D B O方式による委託のため、職員の負担が軽減されている。
- ・施設を広域で運転することにより、安定的かつスケールメリットを生かした事業運営できている。
- ・職員不在のため、日々の巡回等を増やし、運営管理を進めていく必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	環境衛生センター維持管理経費 ※			所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●			
事業対象	町民	目的	収集ごみや環境衛生センターへのごみの持込みなどの対応を行う。			
事業概要	環境衛生センターの運営及び維持管理を行う。					

事業予算						
会計	0001	款項目	04	03	01	大事業 0001 環境衛生センター維持管理経費
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算見込				
	直接事業費	16,343	11,650	13,772	19,386	
	概算人件費	2,935	2,218	1,520	1,520	
	トータルコスト	19,278	11,650	15,292	20,906	
	国庫/県支出金	0	0	0		
	その他	0	0	0		
R3概算人件費	正規職員	0.37人		1,520千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			1,520千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	循環型社会の実現	4.09	3.14
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
	全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□
成果・課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>一部業務の委託により職員負担の軽減が図られ、かつ安定的な施設運営ができています。</li> <li>不要かつ老朽化した設備の管理方法や処分が直近の課題となっています。</li> </ul>				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」

※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	じん芥受入分別事業			所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●			
事業対象	町民	目的	環境衛生センターに収集や持ち込みによって搬入されたごみの分別等を行う。			
事業概要	ごみの持ち込みの受付。ごみの搬入、分別、搬出。ごみの持ち込み場所、重機の維持管理。					

事業予算						
会計	0001	款項目	04	03	02	大事業 0001 じん芥受入分別事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算見込				
直接事業費	概算人件費	21,165	23,729	24,100	23,874	
	トータルコスト	1,049	783	396	396	
		22,214	23,729	24,496	24,270	
国庫/県支出金	0	0	0	0		
その他	0	0	0	0		
R3概算人件費	正規職員	0.08 人		396 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			396 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 循環型社会の実現	4.09	3.14
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ← 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等

- 一部業務の委託により職員負担の軽減が図られ、かつ安定的な施設運営ができています。
- ごみを分別するスペースが若干不足している。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	じん芥運搬処理事業			所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●					
事業対象	町民	目的	環境衛生センターに搬入された、破砕ごみ・金属類・家電・廃蛍光管・乾電池・使い捨てライターの適切な運搬処理を行う。			
事業概要	ごみの運搬及び処理。					

事業予算						
会計	0001	款項目	04	03	02	0002 じん芥運搬処理事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算見込				
	直接事業費	14,158	19,619	18,162	18,533	
	概算人件費	4,243	3,403	2,494	2,494	
	トータルコスト	18,401	19,619	20,656	21,027	
	国庫/県支出金	0	0	0		
	その他	0	0	0		
R3 概算人件費	正規職員	0.63 人		2,494 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			2,494 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
① 資源化の目標（%以上）	33.2	34.5	34.4	33.6	33.5
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 循環型社会の実現	4.09	3.14
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等

- ・社会情勢から資源ごみの取り引きに変化があるものの、安定した処理がされている。
- ・安定した資源ごみの処理を継続するため、処理先の確保の検討が必要。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	ごみ積替施設運営事業 ※			所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●			
事業対象	町民	目的	可燃ごみを外部搬出する際、大型車に積み替える必要があるため、ごみ収集車から大型車（重量20 t）のコンテナへ積み替えるための中間処理施設。			
事業概要	ごみ積替施設の維持管理、可燃ごみの外部搬出を行う。					

事業予算						
会計	0001	款項目	04	03	02	0003 大事業 0003 ごみ積替施設運営事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
直接事業費		53,497		52,415		55,493
概算人件費		1,648		2,089		1,486
トータルコスト		55,145		52,415		56,979
国庫/県支出金		0		0		0
その他		0		0		0
R3 概算人件費	正規職員			0.37 人		1,486 千円
	再任用職員			人		千円
	会計年度任用職員			人		千円
	その他			人		千円
	合計					1,486 千円

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	循環型社会の実現	4.09	3.14
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
	全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等

- ・事業を委託しており、施設や地域住民との大きな問題もなく事業が継続できている。
- ・可燃ごみを外部搬出し処分するために必要な施設であり、安定した運営を図る。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性 「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	最終処分場施設運営事業			所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●			
事業対象	町民	目的	最終処分場の維持管理を図るため、委託及び職員による毎日の巡回を行い、安全管理を行う。			
事業概要	最終処分場及び浸出水処理施設の維持管理。浸出水の処理。浸出水、地下水等の水質測定。					

事業予算						
会計	0001	款項目	04	03	02	大事業 0004 最終処分場施設運営事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算見込				
	直接事業費	4,619	5,964	5,144	3,318	
	概算人件費	1,648	1,675	1,306	1,306	
	トータルコスト	6,267	5,964	6,450	4,624	
	国庫/県支出金	0	0	0		
	その他	0	0	0		
R3概算人件費	正規職員	0.31人		1,306千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			1,306千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
該当施策	重要度	満足度	
1 循環型社会の実現	4.09	3.14	
2	#N/A	#N/A	
3	#N/A	#N/A	
全体平均	3.97	2.97	
<p>重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく</p> <p>重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い</p> <p>維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく</p> <p>改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要</p>			

分析					
分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□
成果・課題等	<p>・適切な管理により、浸出水の異常など他へ影響が見られない。</p> <p>・廃止することが困難な施設を今後も現状のまま維持続けるか、検討を要する。</p>				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			



基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	し尿処理事業			所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●			
事業対象	町民	目的	下水道投入施設維持管理、生し尿の収集運搬や処理を行う。			
事業概要	し尿処理施設等運転委託。生し尿の収集、脱水污泥（処理後の残渣）の搬出。下水道投入施設、設備の補修や維持管理。					

事業予算						
会計	0001	款項目	04	03	03	大事業 0001 し尿処理事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算見込				
直接事業費	534,258		38,305		42,944	
	4,699		2,368		1,986	
	538,957		38,305		44,930	
概算人件費		4,699		2,368		1,986
トータルコスト		538,957		38,305		47,496
国庫/県支出金		0		0		0
その他		0		0		0
R3概算人件費	正規職員		0.42人		1,986千円	
	再任用職員		人		千円	
	会計年度任用職員		人		千円	
	その他		人		千円	
	合計				1,986千円	

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
該当施策	重要度	満足度	
1 循環型社会の実現	4.09	3.14	
2	#N/A	#N/A	
3	#N/A	#N/A	
全体平均	3.97	2.97	
<p>重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく</p> <p>重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い</p> <p>維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく</p> <p>改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要</p>			

分析					
分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□
成果・課題等	<p>・改修工事が終了し、大きなトラブルもなく維持管理ができています。今後は、修繕計画を作成し、順次、設備の整備を進めていく。</p>				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	環境保全推進事業（環境学習、地球温暖化防止運動の推進等）			所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●	●		●	●	●
事業対象	町民	目的	国民運動であるクールチョイス(2030年度の温室効果ガスの排出量を2013年度比で23%削減するという目標)を推進することで、地球温暖化防止に資する。			
事業概要	地球温暖化対策実行計画を推進するとともに、町民理解のための基盤づくりを優先的に行うための普及啓発活動を実施し、町民の地球温暖化に関する機運の向上を図る。また、町民団体や民間事業者が実施する再生可能エネルギー導入促進を支援する。					

事業予算						
会計	001	款項目	04	02	02	001 環境保全推進事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額
		R 4 決算見込				
	直接事業費	65	118		2,516	
	概算人件費	2,959	2,729		2,756	
	トータルコスト	3,024	2,847		5,272	
	国庫/県支出金	0	0		0	
	その他	0	0		0	
R 3 概算人件費	正規職員	0.75 人		2,756 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			2,756 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 見込
① 啓発イベントの実施数	3	5	2	3	6
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	循環型社会の実現	4.09	3.14
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
	全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析						
分析の視点	高い	←————→				低い
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	□	■	□	□	□	
緊急性	□	■	□	□	□	
実効性	□	□	■	□	□	
時代即応性	□	■	□	□	□	
持続可能性	□	■	□	□	□	
成果・課題等	新型コロナウイルスや悪天候により啓発イベントを中止せざるを得なかったが、町ホームページやSNSの積極的な活用等により、一定の成果をあげることができた。					

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	拡大・拡充
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	拡大・拡充
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	公害防止対策事業			所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●	●		●	●	
事業対象	町民	目的	公害を未然防止、拡大防止することにより、町民が安心して暮らせる町づくりを推進する。			
事業概要	苦情・相談に迅速、適切に対応し環境保全を図るとともに、各種環境測定等の測定を実施し、町の環境を把握し公害を未然に防止を図る。					

事業予算						
会計	001	款項目	04	02	02	0004 公害防止対策事業
		R1決算額（千円）	R 2 決算額		R 3 決算額	R 4 決算見込
直接事業費	概算人件費	666	668		668	766
	概算人件費	972	952		787	787
	トータルコスト	1,638	1,620		1,455	1,553
国庫/県支出金	0		0		0	
その他	0		0		0	
R 3 概算人件費	正規職員	0.17 人		787 千円		/
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			787 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 見込
① 騒音測定地点数に対する測定値が基準値内の地点数割合（%）	67	75	100	75	100
② 苦情件数に対する焼却行為の中止件数割合（%）	100	100	100	100	100

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 循環型社会の実現	4.09	3.14
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	□	□	■	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	□	■	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□
成果・課題等	・実績（調査結果）をふまえ、測定回数や地点を精査した。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	美化推進事業（地域美化清掃）			所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	
事業対象	町民	目的	団体や個人等が実施する地域ボランティア清掃を支援することにより、環境美化の保全を推進する。			
事業概要	環境意識の高揚を図るため、ゴミゼロキャンペーンを実施する。また町の中心を流れる葛川の美化を図り、住みよい環境作りを推進する。					

事業予算						
会計	001	款項目	04	02	02	0002 美化推進事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算見込				
	直接事業費	0	165	0	198	
	概算人件費	513	394	559	559	
	トータルコスト	513	559	559	757	
	国庫/県支出金	0	0	0		
	その他	0	0	0		
R3概算人件費	正規職員	0.08人		394千円		/
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	0.08人		165千円		
	その他	人		千円		
	合計			559千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
① 地域美化清掃の件数（件）	44	53	43	55	60
② 地域美化清掃の参加人数（人）	5332	6309	3285	3824	

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 循環型社会の実現	4.09	3.14
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	□	■	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等  
 ・コロナの影響有り（事業の自粛）  
 ・自発的に行動される方への支援により活動が活性化し、地域や葛川の環境が維持されている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性 「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	ごみ処理広域化の推進			所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●	●			●	
事業対象	町民	目的	平塚市・大磯町との広域処理を実施することで、安定かつ安全なごみ処理を推進する。			
事業概要	平塚市及び大磯町とのごみ処理広域化推進のため、広域利用施設等に係る負担をする。					

事業予算						
会計	001	款項目	04	02	02	大事業 0009 ごみ処理広域化推進事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算見込				
	直接事業費	0	1,285	0	117	
	概算人件費	526	1,419	1,022	1,105	
	トータルコスト	526	2,704	1,022	1,222	
	国庫/県支出金	0	0	0		
	その他	0	0	0		
R3概算人件費	正規職員	0.23人		1,022千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			1,022千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 広域連携の推進	3.83	2.88
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□
成果・課題等	第二期実施計画に基づき他市町と連携しながら事業を進めることができた。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			